



# 京機会ニュース

No. 34 平成26年(2014年)春号

京機会事務局

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 b4S13

TEL&FAX:075-383-3713 URL:<http://www.keikikai.jp/>

E-mail:[jimukyoku@keikikai.jp](mailto:jimukyoku@keikikai.jp)



セントレアから  
大空へ 宇宙へ 未来へ  
Take Off!

～ 京機会春季大会のご案内 ～

平成26年度春季大会・総会は、中部支部主催により、4月12日(土)に開催いたします。



当日は、航空宇宙に関連する特別講演やセントレアに沈む夕日を眺めながらの懇親会をお楽しみいただけます。また総会前、開催中に楽しんでいただける特別企画も多数ご用意いたしております。



<滑走路ツアー>では、着陸してくる飛行機がある場合には、迫力ある着陸シーンを間近に見ることができます。また、飛行機にも負けぬ迫力の空港消防所独自の特殊車も間近でご見学いただけます。



<リニア・鉄道館ツアー>では、世界に誇る日本の高速鉄道技術の歴史を辿りつつ、未来の超高速リニアを体験いただけます。



ご希望の方には、昭和39年新幹線開業弁当もご用意いたします。

会員ご家族向けには、理科工作を通じて科学の面白さを体験する<理科ものづくり教室>も開催いたします。

**特別企画のツアー、教室共に参加定員がありますので、お早めに申込み下さい。**

●春季大会・総会の案内はP.2~4をご確認下さい。



京機会初の海外開催!  
九州支部 春の行事  
in 釜山

5月10日(土)~11日(日)に、初の海外開催となる九州支部春の行事を開催します。

九州支部<春の行事>は、九州各地の名所や「壱岐・対馬」「種子島・屋久島」の離島での開催等により、会員はもとより、ご家族も含め多くの皆様に好評をいただいております。そして、今年は、ついに海外での開催が実現しました。



世界第5位の釜山国際コンテナターミナル等の見学・ミニ講演会・釜山近郊観光などを予定しています。韓国の産業そして釜山の文化・歴史・自然をお楽しみいただくと共に、本行事を通じて日韓のこれからのあるべき姿も考えていただければと思います。●詳細はP.9をご確認下さい。

中国四国支部総会

桜舞う春の広島で開催(4月5日(土))です!

●詳細はP.9をご確認下さい。



京都大学フォーミュラKART  
工学研究科長賞受賞!



昨秋開催の第11回全日本学生フォーミュラ大会で見事総合優勝を果たした京大フォーミュラプロジェクト「KART」が、12月5日に工学研究科長賞を受賞されました。●KARTの活動はP.12をご確認下さい。

秋季大会・総会 in 桂キャンパス



桂キャンパスで開催した初めての大会・総会は、盛会に終了しました。平成26年度の秋季大会は、11月に吉田キャンパス百周年記念館で開催予定です。●詳細はP.5をご確認下さい。

## 二つの提言：主催型同窓会と社会貢献



京機会は、今や学科同窓会としては、日本一、いや世界一です。〇〇大学の同窓会は素晴らしいとかよくいわれますが、それは大学全体の同窓会であり、学科の同窓会ではありません。

そこで、多くの大学の方から、京機会のノウハウを尋ねられます。東北大学の機械系同窓会は、京機会に見学に来られました。どこの同窓会でも、とくに、若い人の参加の促進策が求められています。京機会では、現在は多くの若い人が参加していますが、10年前にはほとんど皆無でした。これは、学生時代から、京機会学生会、KART(学生フォーミュラー)、工場見学会などを通じて、京機会になじみが形成されているからでしょう。

同窓会というと、卒業生が集まって思い出話に花を咲かすというのが一般的です。京機会はそのから一歩進んで、多くの活動をする組織になりました。

関西支部には11のカフェ●があり、それぞれが同好の士を募り、楽しんでいます。11のカフェがあるということは、少なくとも11人の主催者がいるということです。また、KIR(京都イノベーションリソース)は同窓会から二歩進んで、NPO法人を組織しました。KIRでは、10名ぐらいが主催者として産官学のマッチングや技術支援活動で活躍しております。京機会学生会も各メンバーは、見学会や先輩との交流会などの行事の主催者です。参加するよりは主催する方が、責任は伴いますが、充

実感があります。数人程度の趣味の会、情報交換会、飲み会、なんでも結構です。みんなが主催者となり、多くの集まりができれば、面白い同窓会になりそうです。集まりの案内などは、京機会でお手伝いさせていただきます。

同窓会というと、閉鎖組織で、自分たちだけで楽しんでいるのが一般的です。しかし、社会貢献も視野に入れることによって、同窓会の社会的地位を向上させる必要があります。京機会では、これまで、学生の工場見学、先輩との交流会、などの支援をしてきました。また、多くの卒業生が、非常勤講師として、設計製図などの実務的な教育にもあたってきました。しかし、それらは大学内での貢献です。ここで、大学から出て、社会への貢献を開始したいと思います。たとえば、機械学会関西支部シニア会は、子どもの理科工作教室を開催し、毎年約400名の小学生が受講し、ものづくりの好きな子どもの育成に寄与しています。KIRでは、シニアの技術、知恵を社会に還元しようとしています。京機会でも、行事の高校生への開放、災害支援、発展途上国支援など社会貢献を視野に入れたいと思います。すでに、これらに取り組んでいる方の支援もいたしますし、新しい提案もお待ちしています。よくやっている京機会から、立派な京機会になりたいものです。

京機会会長 松久 寛(S45)

●京機カフェの様子は、関西支部報告(P.6~7)をご参照ください。

## 春季大会・総会会場へのアクセス

### ● 会場へ



### ● セントレア(中部国際空港)へ

主要線路	主要駅	時間	金額
新幹線 (東京・京都)	名古屋駅 (名鉄)	28分	850円(1,200円*)
JR線			
近鉄線			
名古屋地下鉄 (東山線・桜通線)			
あおなみ線	名古屋駅乗り換えマップ		
JR線	金山駅 (名鉄)	24分	790円(1,140円*)
名古屋地下鉄 (名城線・名港線)		31分	
名鉄名古屋本線 (岡崎・豊橋方面)	神宮前駅 (名鉄)	21分	730円(1,080円*)
		29分	

● ミュースカイ ● 特急

会場(セントレアホール)は、アクセスプラザから、旅客ターミナルビル3階にすすんでいただき、国内線チェックインカウンターの方に進んで下さい。その先に第2セントレアビルへの連絡通路があり、そこを進んでいただくとセントレアホール入口があります。



## 平成26年度 京機会春季大会・総会 開催のご案内

本大会を下記の通り開催いたします。ご家族とともに、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

■ 日 時：平成26年4月12日(土)

■ 会 場：中部国際空港 セントレアホール  
愛知県常滑市セントレア1丁目1番地  
※会場へのアクセスは前頁を参照下さい。



### ■ 春季大会／総会スケジュール

I. 総 会：15：00～15：45

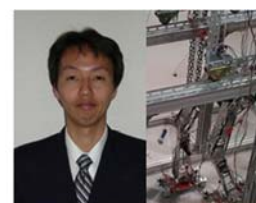
II. 講 演①：15：55～16：35 (高校生の聴講歓迎します！)

「メカトロニクスのための制御理論：ロボットと宇宙と確率統計」

京都大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻

藤本 健治 教授(H2 京大卒：工学部精密工学科)

メカトロニクス系の一連の制御手法とその航空宇宙・ロボットへの応用についてご解説いただきます。



Kenji Fujimoto

III. 講 演②：16：35～17：15 (高校生の聴講歓迎します！)

「ロケットの機械工学」

三菱重工業(株) 執行役員フェロー 防衛・宇宙ドメイン 技師長

浅田 正一郎 氏(S53 京大卒：工学部航空宇宙工学科)

太陽同期軌道、ロケットエンジンの燃焼サイクル、推進薬供給とロケット構造との連成振動等、ロケット特有の機械工学の事例をご解説いただきます。



Shoichiro Asada

IV. 懇親会：17：45～20：00 (@アリスダイニング)

飛行機の離着陸を間近で見ながら立食パーティをお楽しみ頂きます。

### ■ 会 費(懇親会費)：

2003年以前に学部卒業の方	10,000円
2004年～2008年に学部卒業の方	8,000円
2009年以降に学部卒業の方	5,000円
現役学生及び新入社員の方	3,000円
同伴ご家族は無料	



### ■ 講演会・総会以外にも魅力的な行事を企画いたしております。(次頁参照)

● 自由な服装でお越しください。

● 出欠等のご連絡は、**3月21日(金)まで**に、ホームページまたは同封のはがきでお寄せ下さい。

同伴者がおられる場合は、はがき回答欄にチェックの上、同伴者のお名前もご記載下さい。

京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>) からも、申し込み可能です。WEB申込の場合は、同伴者のお名前も個別にご登録下さい。同伴者登録の際、卒業年次項目は会員の学部卒業年次をご登録下さい。



＜お願い＞ 特別企画は、各コースで定員設定しておりますため、事前申込が必要となります。お申込にあたり確認事項も多くございます。間違防止のため、参加希望の方は、京機会HP受付からの参加登録にご協力をお願いします。ハガキで特別企画に申し込ただく場合は、次頁の番号で参加希望をお知らせ下さい。参加受付は3月3日より開始します。なお、ハガキ到着時期に定員に達していた場合、ご参加いただけないことがあります。ご容赦下さい。

### ■ 中部支部会員各位

当日は、11：00～11：30に、セントレアホールで中部支部総会も同時開催いたします。  
中部支部会員の方は、支部総会からのご参加をよろしくお願いいたします。

# 春季大会 特別見学ツアー/理科ものづくり教室のご案内

総会前、開催中に、みなさま、ご家族に楽しんでいただける行事をご用意いたしました。  
各ツアー、教室、共に参加定員がありますので、お早めに申込み下さい。

＜春季大会・総会出席者対象の特別企画です。春季大会・総会と共に申込み下さい。＞

＜お願い＞ 特別企画は、各コースで定員設定しておりますため、事前申込が必要となります。お申込にあたり確認事項も多くございます。間違防止のため、参加希望の方は、京機会HP受付からの参加登録にご協力をお願いします。ハガキで特別企画に申し込ただく場合は、下記番号にて参加希望をお知らせ下さい。総会参加受付は3月3日より開始します。なお、ハガキ到着時期に定員に達していた場合、ご参加いただけないことがあります。ご容赦下さい。

＜ハガキ用回答番号＞ ①滑走路見学ツアー ②鉄道館見学ツアーA 昼食付 ③鉄道館見学ツアーA 昼食なし  
④鉄道館見学ツアーB 昼食付 ⑤鉄道館見学ツアーB 昼食なし ⑥ものづくり教室  
①～⑤は1コースのみの選択ですが、⑥は任意です。(①～⑤と⑥を合わせて選択頂いて問題ありません。)

## 特別見学

### (1) 滑走路・空港消防所 見学ツアー

＜参加無料、事前申込みが必要：先着82名＞

普段は関係者しか立ち入ることのできないエリアを見学できる特別なツアーです。バスで空港島内を巡り、航空機をより一層身近にご覧頂けます。さらに今回、京機会のためだけに、空港内の消防施設を見学させて頂けることになりました。空港消防所独自の特殊車両を間近でご覧いただけます。お見逃しなく！

12:30 セントレアホール集合(昼食を済ませてご集合下さい)

※身分証明書の提示が必要です。

免許証・パスポート・学生証・保険証、いずれか原本(コピー不可)

### (2) リニア・鉄道館 見学ツアー

＜参加無料、事前申込みが必要：先着42名＞

世界に誇る日本の高速鉄道技術の歴史を辿りつつ、未来の超高速リニアを一足先に体験しましょう！入館料(大人1,000円)は京機会が負担します。また、希望者には昭和39年新幹線開業当時に東京駅で販売した幻の幕の内弁当(有料:950円)をご用意します。(リニア・鉄道館限定のお弁当です)。

#### A：セントレア集合コース

11:30 セントレアホール ホワイエ集合

#### B：現地集合コース

10:30 リニア・鉄道館 エントランスホール集合



## 理科ものづくり教室(対象：小・中学生)

＜参加無料、事前申込みが必要、先着20名＞

空気マグネシウム電池カーをつくろう！ミニカーの後部に塩水を垂らすと...なんと、ミニカーが走り出す！京機会スタッフが発電の原理、組み立て方・走らせ方をやさしく解説します！

14:30受付開始、15:00 教室開講(セントレアホール 初任集合)

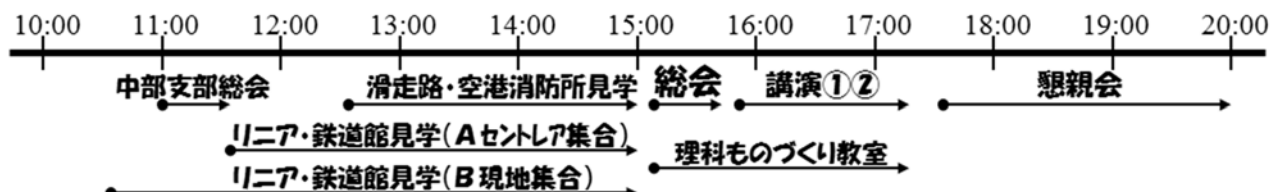
※小学生低学年の方は保護者の方のご同伴をお願いいたします。

## その他(周辺観光の見所紹介：自由散策)

宿泊にてご来場の方、特別見学ツアーに参加できなかった方、ぜひセントレア周辺観光をお楽しみ下さい。

- ・常滑やきもの散歩道 <http://www.tokoname-kankou.net/>
- ・INAXライブミュージアム <http://www1.lixil.co.jp/ilm/>

## 特別企画スケジュール





## 平成25年度京機会秋季大会・総会のご報告



日時：平成25年11月23日(土・祝)

総会：京都大学桂キャンパス  
C3棟 講義室1

懇親会：同船井哲良記念講堂

**今回は桂キャンパスで開催された初めての大会・総会でしたので、C3棟のお披露目をかねた見学会を開催し、講義室や実験室をご覧いただきました。**

**参加者は、ご家族も含め124名でした。**



### － 桂キャンパス見学会 －

総会に先立ち、桂キャンパスC3棟見学会が開催された。蓮尾昌裕幹事(S61)が全体説明を行った後、C3棟1階の講義室、カフェテリア、地下1階の機械工作室、共通実験室、4階の京機会室、レンタル研究室等を紹介した。



### － 総会 －

見学会終了後、中部主敬副代表幹事(S56)の挨拶により開会し、松久寛会長(S45)から挨拶をいただいた。KARTの全日本学生フォーミュラ大会優勝(後述)に対するお祝いの言葉に加え、各支部の社会貢献活動を活発化し、子供の理科離れに歯止めをかけて欲しいとの要望があった。

続いて中部副代表幹事より、大学・教室の現状報告があった。本年度は機械系専攻群の桂キャンパスへの移転が完了したことともない、桂と吉田の二カ所での講義、キャンパス間の移動など教育環境が大きく変化したことが紹介された。続いて文科省のリーディング大学院等への取り組みや、機械系教員の大学中枢部での活躍の様子が報告された後、昇任・新任教員および教員の異動(転出)の紹介があった。

その後、「H27年度以降の総会を年1回とする」こと、「京機会ニュースの発行を年1回とする」ことが決議され、「工学部同窓会が工学系同窓会連絡会に改組された場合、京機会使用の部屋の看板は『京機会(京大工学系同窓会連絡会分室)』となる。本組織名称は京機会のみである。」ことも承認された。

さらに、平成25年度上半期の京機会活動が報告さ

れた。また、野中鉄也氏(S54)からインターネットを利用した会員向けサービス(WEB行事参加受付、データ収集システム、Facebookへの展開)の充実へのとりくみ、千々木亨九州支部長(S54)から九州支部で検討中の社会貢献型行事の紹介があった。

最後に中部支部主催平成26年度京機会春季大会・総会が4月12日(土)に中部国際空港セントレアホールで開催されること、平成26年度秋季大会・総会が11月1日(土)又は11月15日(土)のいずれかで、吉田キャンパスにて開催予定であることが紹介された。

### － 特別講演会 －



松久会長の司会で和仁正文氏(S48)の「ガスタービンコンバインドサイクル発電の技術動向」についての特別講演会が開催された。

三菱重工業(株)は大型ガスタービンで唯一の国産メーカーとしてGEやSiemensと世界市場で対抗しており、それを支える技術は材料力学・流体力学・熱力学・振動工学など機械工学の基礎的な学問であること、またその開発の歴史とプラント熱効率の推移、今後必要とされる要素技術などの紹介があった。

### － フォーミュラプロジェクトKART優勝報告 －

特別講演会終了後、大橋一輝(4回生)プロジェクトリーダーから全日本学生フォーミュラ大会で総合優勝に輝いたことが報告された。2003年のKART発足からの歴史の紹介の後、本年度のプロジェクトにおける、チームのマネジメント、車両設計、改良の為に特に計測を重視したことなど、優勝にたどり着くまでの努力と工夫の紹介があった。若い世代の全国レベルでの活躍は、京機会にとっても大変誇らしく、明るい未来を感じることもできる喜ばしいニュースであった。

### － 懇親会 －

北條正樹幹事(S54)の司会進行により船井記念講堂にて懇親会が開催された。松久会長の挨拶の後、機械系教室の代表として小森悟前工学研究科長(S48)から桂キャンパスC3棟の竣工式典への京機会からの寄付に対するお礼、教室や大学の近況の紹介があった。続いて大路清嗣氏(S28)の乾杯の発声の後歓談を楽しんだ。懇親会終盤には塩路昌宏副会長(S50)の挨拶があり、最後に若手を代表して元学生会SMILEの荒井未来氏(H23)によって京機会と各位の今後の益々の発展を祈念した一本締めが行なわれて閉会した。懇親会終了後、同講堂のホールにて参加者全員で記念写真を撮影して散会した。





## 支部だより

## 関西支部からのお知らせとご報告

### 平成26年度 支部総会・新年会の報告

平成26年1月18日(土) ホテルグランヴィア大阪

#### ・支部総会 (17:00~17:40、出席73名)

平成25年度の支部各種活動報告を行った後、25年度決算、H26年度役員・活動計画・予算の審議を行い、原案通りに可決されました。支部長には小谷重遠氏(S44)が留任し、新事務局長に織田剛氏(H2)が就任しました。

#### ・新年会 (17:45~19:45、参加108名)



当番会社(株)神戸製鋼所代表三宅俊也氏(S57)の挨拶、小谷支部長(S44)の挨拶、京機会松久寛会長(S45)の挨拶、大学代表北村隆行教授(S52)の近況報告の後、参加最年長の若林穰氏(S22)ご発声の乾杯で学生や社会人も交えた世代を越えての賑やかな宴が始まりました。途中、昨年優勝の荣誉に輝いた学生フォーミュラー「KART」の活動報告と共に学生による福引き抽選が行われました。

最後は平成27年度当番会社(新日鐵住金株)代表岩井律哉氏(S54)の挨拶、恒例の「琵琶湖周航の歌」大合唱の後、並木宏徳顧問(S44)の万歳三唱で締め、終始にぎやかで活気に満ちた新年会となりました。

### 下期の活動報告と今後の予定

#### ■ 産学懇話会

第38回:平成25年7月6日(土) 参加者:41名

- ・場所:京都大学工学部物理系校舎216室
- ・講演-1:「エレクトロクス分野における、電子部品の新規事業創出と私の経験そして学生に望むこと」パナソニック常務取締役 野村剛氏(S51)
- ・講演-2:「レスキューロボット開発と実用化への課題」京都大学教授 松野文俊氏(S56)

第39回:平成25年10月19日(土) 参加者:37名

- ・場所:京都大学工学部物理系校舎216室
- ・講演-1:「発電用ガスタービンの技術動向」三菱重工業(株) 次長 田中克則氏(S61)
- ・講演-2:「ガスエンジンソリューションの動向と課題」ヤンマー技監・部長 西村章広氏(S60)
- ・講演-3:「これからの自動車」京都大学教授 塩路昌宏氏(S50)

#### ■ 異業種交流会

第35回:平成26年1月31日(金) 参加者:16名

- ・会場:DMG 森精機株式会社・伊賀工場
- ・講演:「工作機械の開発と生産～グローバル環境へのチャレンジ～」常務執行役員 藤嶋誠氏

第36回:平成26年3月7日(金)

(Smileの関西工場見学との合同開催)

- ・会場:三菱重工業(株) 高砂製作所

#### ■京機カフェ

※詳細・申し込みは関西支部HPを参照下さい。

##### ●若手交流会

第16回:平成25年10月20日(土) 参加者:10名

- ・内容:ワイナリー見学@丹波

##### ●ビジネス倶楽部

第4回:平成25年11月11日(月) 参加者:29名

- ・会場:新明和工業(株) 甲南工場
- ・講演:「話題のUS型飛行艇について」新明和工業(株)代表取締役 大西良弘氏(S43)

##### ●産業遺産探訪

第3回:平成26年5月24日(土)

- ・場所:有形文化財・近代化産業遺産 大阪倶楽部会館
- ・テーマ:戦前・戦中(1920~40年代)の産業遺産
- ・内容:安井武雄氏設計の会館を細部まで見学 織田剛氏(H2)による「飛行機」の話をお聴く

##### ●ゴルフカフェ

第3回:平成25年11月9日(土) 参加者:7名

- ・場所:ロータリーゴルフクラブ(神戸市北区)

第4回:平成26年3月5日(水)4組、場所 同上



##### ●大阪あそび

第2回:平成25年9月28日(土) 参加者:12名

- ・場所:大阪府堺市「自治都市・堺めぐり」

##### ●京都あそび

第1回:平成25年12月7日(土) 参加者:12名

- ・内容:「伏見・桃山めぐり」～伏見の銘酒、歴史の街を訪ねる街歩き～

第2回:平成26年4月26日(土)

- ・京都の花街を代表する京都祇園甲部歌舞練場の「都をどり」鑑賞会。

##### ●ミュージックカフェ

第2回:平成25年10月26日(土) 参加者:15名

- ・場所:京都上桂 青山音楽記念館
- ・内容:Erika Dohi & Mivos Quartet in Kyoto ～ピアノと弦楽カルテットのコラボレーション ニューヨークからの風～

主役のピアノは、京機会会員土肥祥司氏(S52)のお嬢様で、ニューヨークを拠点に世界で活躍中の土肥絵里香さんです(ニューヨーク在住)。







■京機カフェ

●KMCイノベーション研究会

第3回:平成25年10月21日(月) 参加者:5名  
・内容:講演テーマについて議論

●MOT研究会

●京機私塾(U-40)

●文楽鑑賞会

■京機・京都の会

開催日:3、7、9、12月の第一土曜日、11時から  
毎回40分程度の話提供の後、会食・懇談  
場所:ウエスティン都ホテル(蹴上)

- ・H25年度実施の卓話テーマ
- 3/9 「元素戦略研究の動向」  
落合庄治郎氏(S46)
- 7/6 「京都大学での45年を振り返って」  
牧野俊郎氏(S47)
- 9/14 「マツダSKYACTIV-Dの仕組みとその性能」  
中井英二氏
- 12/7 「人工関節の話」 池内健氏(S40)  
「人工関節の作り方」 垣野義昭氏(S39)
- ・H26年の詳細は、京機会ホームページをご覧ください。

■京機九日会

- ・幹事:H26年はS43年卒組が幹事を担当する。
- ・場所:中央電気倶楽部(大阪・堂島)
- ・H26年(予定)の開催日と卓話テーマ
- 2/10 「日本のモノづくりについて、  
自動車事例を考える」 瀧本正氏(S43)
- 4/9 「エンジン技術の動向と関連する燃焼研究」  
塩路昌宏教授(S50)
- 6/9 「趣味について……年賀状版画を中心に」  
川合等氏(S42)
- 8/9 「エネルギーの状況について」 石崎幸人氏(S43)
- 10/9 「浮上式鉄道の状況について」  
藤江恂治氏(S37電気)

■このえ会

京機会の会員および会員子女を主な対象とした結婚支援活動組織「このえ会」では、より多くの出会いを実現するため入会登録者数の拡大に努めています。事務局において積極的なPRを展開するとともに、会員の皆様にも積極的な口コミPRをお願いいたします。会の詳細やお問い合わせは京機会ホームページをご覧ください。

中部支部からのお知らせとご報告

学生工場見学会・技術交流会の報告

日時:平成25年9月26日27日 参加人数:36名  
工場見学:DMG森精機(株)、三菱自動車工業(株)  
(株)デンソー、トヨタ自動車(株)  
講演:「アウトランダーPHEVの開発」  
三菱自動車工業(株) 久米建夫氏

日本カー・オブ・ザ・イヤーイノベーション部門賞、RJCテクノロジーオブザイヤーを受賞したアウトランダーPHEVの開発秘話を三菱自動車 久米様よりご講演頂きました。また、18:00からの懇親会には、社会人OB14名、大学側(引率先生含む)32名が集まり、デンソー安城荘にて盛大に執り行われました。開始早々の自己紹介では皆、やや緊張した空気でしたが、会が進むにつれ参加学生からOBへ卒業研究のこと、進路のことについて活発な議論で盛り上がり、大盛況でした。写真はトヨタ自動車(株)OBの野呂様からのメッセージを頂いた際の1コマです。「人を大切にする会社が良い会社。学生の皆さんも良い会社を選んでください」とのお言葉に、学生のみならず、OBも改めて大切にすべきものを認識できた貴重な時間となりました。



若手の会 座談会のご報告

日時:平成25年12月27日 参加人数:6名  
「タミヤ歴史館・ショールーム見学&座談会」  
若手の会主催で静岡市タミヤ本社内にあるタミヤ歴史館・ショールームの見学&座談会を開催しました。建築用木材加工販売の会社から木製模型を経て現在に至るタミヤ。ポルシェ911を分解したいがために購入してしまう、タミヤのモノづくりへのこだわりを学びました。



平成26年度 春季大会  
中部支部総会のお知らせ

4月12日(土)中部国際空港セントレアホールにて春季大会、中部支部総会を開催します。

<中部支部総会>

時間:11:00~ 会場:セントレアホール

支部総会終了後、春季大会特別企画に、ご参加いただけます。



第8回 写真同好会撮影会のご報告

2013年11月10日(日)、武蔵国分寺の「お鷹の水公園」にて行いました。当日は、曇り時々薄日の天候で、少し残念だったのですが、ご参加のみなさん、晩秋の武蔵野をいつものように撮りまくってきました。



第12回 ゴルフ会のご報告



2013年9月14日(日)、千葉県の万木城カントリークラブにて台風直前の晴天のもと10名のメンバーが参加し、全員がグロス100切り、2位と4位と最下位が同グロススコアという近年稀に見る接戦を繰りひろげました。優勝は前野幹彦氏(S42)が、ベストグロスは角知則氏(S55)が獲得されました。

第12回 異業種交流会のご報告

2013年11月15日(金)、品川のソニー本社にてソニー(株)主催で35名と多くの参加者のもと開催されました。4Kシアター等通常では見られない本社ショールームの体験・見学、さらには「サッカーから始まったアフリカ無電化地域の電力供給」、「デジタルカメラの業界動向と各社の戦略」の興味深い2講演を聞かせていただきました。1階にあるイタリアレストランにて懇親会を行い、大いに盛り上がりました。

学生工場見学会のご報告

2013年11月21日(木)～22日(金)に、25名の学生が参加し工場見学会を実施しました。

各企業のご協力により、三菱重工業(株)(横浜製作所本牧工場)、JT(生産技術センター)、(株)日立製作所(中央研究所)、(株)IHI(瑞穂事業所)を見学させていただきました。

また21日にはJT様の主催で学生、JT若手社員、京機会メンバーで懇親会を行い、学生の企業に対する思いなど聞かせていただきました。

第13回 関東支部総会・新年会のご報告

2014年2月1日(土)、日立金属高輪和彊館にて56名が参加し開催されました。

リカレント講演では加納学教授(H4)による『プロセスデータ解析ー仮想計測と異常検出の基礎と応用ー』、また総会特別講演では(株)日立製作所OBの塚田實氏(S44法学部)による「事業のグローバル化への課題と心構えー日立総研号「対論」を通じて得た示唆ー」の2つの講演が行われ、活発な質疑応答がなされました。活発な質疑応答がなされました。また大学近況として昨年のKART優勝の報告が大橋一輝氏より行われました。

総会後には新年会が盛大に行われ、今後の関東支部を盛り上げていくべく熱く楽しい交流がなされました。



「東北の会(仮称)」が平成26年度より始動予定!



「写真提供：仙台市観光交流課」

杜の都、仙台を拠点とする、「京機会東北の会(仮称)」が、佐藤正明氏(S51博士課程修了)のお世話役のもと、発足の運びとなりました。

代表には、清野 慧氏(S42)に就任いただく予定です。3月14日に、東北地区の有志による準備委員会を開催し、4月の春季大会には、正式に設立のご紹介をさせていただきます。

東北地区での行事開催の折は、皆様のご参加をお待ち申し上げます。





地区交流会の報告

日時：平成25年11月9日(土)

会場：ホテルセンチュリー21広島 参加人数：9名

ホテルセンチュリー21広島にて支部役員連絡会議を開催しました。終了後、地区交流会を開催し、親睦を深めました。



平成26年度 支部総会のご案内

日時：平成26年4月5日(土) 午後

会場：ホテルセンチュリー21広島(広島市)

講演：「ポリテクカレッジ・中国能開大から日本のものづくりを考える」  
中国職業能力開発大学校 宇野義幸校長(S43) 他1件

支部総会前に広島市内の観光を行います。



詳細は、京機会ホームページ  
ならびにメールでお知らせします。

ご家族の参加も歓迎します。  
多数のご参加をお願いします。

九州支部からのお知らせとご報告

<秋の行事>のご報告

11月9日～10日に秋の行事としてTOTOファインセラミックス(株)中津工場と支部総会を開催いたしました。その後、秘湯こがね山荘で懇親会を行い、翌日は耶馬溪、中津市内の歴史史跡、昭和の街を見学し、秋の九州を満喫しました。ご家族も含め総勢19名の方にご参加いただきました。



総会では、会計報告と役員改選が承認され、事務局長には入船佳津一さん(S60)、事務次長には石黒淳一さん(S61)を選任しました。

懇親会は中津市郊外にある秘湯こがね山荘で行いました。深まりゆく秋を冷気の中に感じながら心洗われるような温泉と、味わい深いおもてなし料理に、実にさわやかなひと時を京機会の皆様と過ごすことが出来ました。



翌朝は、秋の紅葉で有名な耶馬溪を見学しました。その後、中津市内見学では、観光ボランティアにご案内いただきました。論吉旧居、中津旧市街、寺町見学居、中津城のみならず、中津旧市街の古寺や、

中津城周辺の石垣技術の詳細など、普通の観光ではうかがい知ることの出来ない中津の魅力に触れることが出来、大変内容の濃い楽しい散策となりました。



料亭瑠璃京では周防灘の鱧によるフルコースを頂きました。都会では味わえない逸品でした。

中津見物で少々のおんびりし過ぎた為、豊後高田市の昭和の街への到着がすっかり遅くなりましたが、短い時間ながらも、昭和時代のオート三輪やロー看板、等々、幼い頃の記憶を呼び覚ますなつかしの品々に巡り合うことが出来ました。

平成26年 九州支部<春の行事>のご案内

日時：平成26年5月10日(土)～11日(日)

スケジュール(予定)：

5月10日 午前：釜山集合

午後：釜山国際コンテナターミナル  
シームレス輸送他見学  
ミニ講演会

「韓国のメルティング・ポット  
釜山の過去・現在そして未来(仮題)」

講師 朴正圭氏(H3)

(韓国自動車産業研究所  
革新戦略室前任研究委員)

夕刻：釜山で懇親会、宿泊

5月11日 釜山及び近郊見学

(予定：通度寺、慶州、海雲台など)

詳細は、京機会ホームページならびに  
メールでお知らせします。

## 学生会SMILEからのお知らせとご報告

### 学生と先輩の交流会の報告

日時：平成25年12月14日(土)



私達SMILEの活動の中でも最も大きな企画である「学生と先輩との交流会」を本年度も開催しました。今年は初の桂キャンパス船井哲良記念館での開催ということで、例年以上に新しいことが増え、不安の多いスタートでしたが、ご参加企業はおよそ90社と、昨年度と変わらぬ数の方々にお越しいただきました。学生の参加人数も多く、お陰様で盛況のうちに会を終えることができました。

本交流会の開催に際して多大なるご協力を賜った先輩の皆様、先生方、そして京機会の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。

### 関東工場見学会の報告

日時：平成25年11月21日～22日

本年度も関東工場見学会を開催いたしました。

2回生から修士まで、参加学生の幅は広く、見学先は、三菱重工業(株)、日本たばこ産業(株)、(株)日立製作所、(株)IHIの4ヶ所でした。様々な業種の工場から研究所まで、普段なかなか見られない作業風景や最新技術に触れることができました。参加学生にとって非常に有意義な時間となりました。



## 学生会員へのお知らせ

### < 修了・卒業されるみなさんへ >

#### 大学院学位記授与式・卒業証書授与式のご案内



本年度、教室では、桂キャンパス桂C3棟講義室1にて、3月24日(月)17時45分から機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位記授与式を行います。3月25日(火)は、12時から吉田キャンパス物理系校舎315室で卒業証書授与式を行います。

#### 修士修了記念パーティーのご案内

学位記授与式(3/24)終了後、京機会主催の記念パーティーを開催します。

2014年度に新社会人となる学生会員が対象です。博士修了・学部卒業の学生会員に方々も奮って参加下さい。記念写真撮影も予定しています。



#### 卒業記念品(本革名刺入れ)の贈呈

2014年度に新社会人になる方には、京機会特製名刺入れを贈呈します。(2014年度会費納付が前提です。)



### < 機械系に在籍のみなさんへ >

- 学生会員年会費(1000円)を納入下さい。
- テータ登録のススメ

学生向け情報も、多数配信していますので、京機会へのE-mailアドレス等のデータ登録をお願いします。

### < 1回生時に物理工学科同窓会費を納入した方へ >

1回生時に納入された物理工学科同窓会費は、2回生～4回生の3年間の京機会学生会費に充当されます。

「2回生工場見学への参加資格」  
「企業工場見学での参加費補助(最大5000円)」  
「学生と先輩との交流会 懇親会への割引参加(ワンコイン<500円>)」などの会員特典があります。

■ 平成26年度も、企業見学や京機会会員向け行事を多数開催予定です！ 京機会の多くの行事は、学生価格を設定し、学生諸君の参加を歓迎しています。



「学生と先輩との交流会」「企業工場見学」や学生会SMILE活動、各種行事の様子は、P. 11やその他の報告でご確認下さい。

### < 新修士学生会員のみなさんへ >

「京機会 海外へチャレンジ・臨坂基金」に応募ができます。申請方法は、随時、E-mailにて案内します。



臨坂基金:国際会議等で初めて研究発表する場合、基金より交通費等を補助します。状況により修士以外の学生会員の応募も可能です。



## 学生会員への京機会活動

京機会は、卒業生のための同窓会組織でもありますが、近年、学生会員(機械系専攻在学学生)向けの行事や支援も数多く行っております。

### 2回生 工場見学会

2回生講義「機械製作実習」の一部として実施する工場見学会に、京機会は第二世紀記念事業会と共にバス代の補助、見学先の手配、昼食の手配などで支援しています。本会は、機械システム学コースの勉強と実社会での技術者の活動の関係を知る貴重な機会です。

### 中部工場見学会

機械システム学コースの公式行事で、京機会、京機会中部支部、京機会学生会SMILEの協力のもと、実施される1泊2日の工場見学ツアーへの参加費補助を行います。本会は、「機械系らしい」ものづくりに強い企業の工場を見学し、普段の勉強がどのように生きるか学ぶ貴重な機会です。見学の他に、懇親会には京大OBの若いエンジニアが多数ご参加いただき、社会人と知り合う機会ができ、普通では聞けない社会人の本音を聞かせていただくことができ、将来の就職に役に立つ企画です。

### SMILE主催 工場見学会

2回生工場見学、中部工場見学のほかに、京機会の各支部(関西・関東・中国四国)のご協力より、京機会学生会SMILE主催の工場見学を実施しています。

京機会からは、参加学生に一部補助金を提供し、参加しやすい環境を作っています。また、各支部や訪問企業からも多大なるご尽力をいただいております。



### 学生と先輩との交流会

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しています。

本会は、京機会会員である先輩から、在学学生に対し、大学における勉強と実社会との仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。過去より、毎年約100社の企業に参加いただき、各社からも好評をいただいております。

平成25年度は桂キャンパス移転に伴い、場所を京大百周年記念館から船井哲郎記念館に移し、86社の企業に参加をいただき開催しました。



### 修士修了生・卒業生記念写真撮影

機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位授与式、ならびに機械システム学コース卒業証書授与式終了後、記念撮影を行っております。



### 修士修了記念パーティー

新社会人となる修士学生会員を対象として、博士修了・学部卒業の学生会員も交え、学位記授与式後の記念写真撮影後、京機会主催の記念パーティーを開催しています。



### 新社会人への記念品贈呈

新社会人となる学生会員には、修士修了パーティーへのご招待と共に、京機会特製本皮名刺入れ(前頁参照)を贈呈しています。

### 脇坂基金の運用・管理

脇坂基金は、国際会議等で初めて研究発表する学生に交通費等を補助します。京機会は、本基金の運営を預かり、学生への対応を行っています。

### 京機会学生会SMILEとの連携

SMILEは京大機械系の学生同士・OB間の交流を促進するために設立された学生を主体とする団体です。

学生同士、また学生と社会を密接に結びつける場を提供することにより、自己啓発及び新たな価値観の創出を促すことを目的として活動しています。

2003年の発足以来、今日まで10年間、延べ100名のメンバーを輩出し、社会で活躍されています。

SMILEは、京機会活動にとって、とても重要な組織のひとつです。

## 学生KARTからのお知らせと報告

私たちKARTは、学生がモノづくりやレーシングチームの運営などを通じて、座学では得ることが出来ない幅広い経験を積み、人間的に成長する場として2003年に結成されました。この活動では車両の設計・製作のみならず、広報活動や支援交渉、会計といったチームマネジメント業務を、全て学生が自らの手で行っています。その様相は小さなベンチャー企業に近いものがあり、大学の枠を超えたものとなっています。



第11回大会に参加したメンバーと車両

結成以来10年間、KARTは全日本学生フォーミュラ大会で優勝することを内外に掲げてきました。特に第9回大会以降においては、実力的にも十分優勝に手が届くチームとなり、順調に行けばその座は確実なものといわれていました。しかしながら、第9回・10回大会と連続でエンデュランスリタイアを喫し、辛酸を嘗める結果となりました。昨年度の第11回大会はそういった意味で後がない、言わば「背水の陣」で臨むこととなります。

それまでの2年間、私達の優勝を阻み続けてきたのは「信頼性の欠如」でした。特に直接のリタイア原因となったエンジントラブルについては、制御方式の刷新やエンジン試験機によるテスト、実走行の繰り返しによって、トラブル因子を徹底的に排除しました。しかし、こうした対策により車両が冗長になりすぎ、運動性能が低下することは避けなければなりません。両者を高い次元でバランスさせることを念頭に、2013年度車両KZ-RR11が誕生しました。

満を持して臨んだ第11回大会において、KZ-RR11は序盤からその信頼性と速さを見せつけ、スキッドパッド2位・アクセラレーション9位・オートクロス2位と好成績を重ねます。そして、最大の懸念事項であったエンデュランスも見事に1位でフィニッシュ、完走を果たしました。同時に、それは私たちの10年来の想いが、総合優勝という形で結実した瞬間でもありました。

総合1位という最高の結果で終えることが出来た第11回大会ですが、一方で新たな課題も浮かび上がっています。私達が強みとしてきた静的項目は、中でもコスト審査が13位と低迷し、上位との差が開きつつあります。KARTが制したエンデュランスについても、途中迄はタイムで上回るチームがあり、そのチームが完走していたら

優勝は危ぶまれる状況でした。総合点でみれば、KARTの得点が857点であったのに対して、2位の大学との得点差は僅か3点であり、ぎりぎりの勝負を制した大会であったといえます。優勝したことには変わりありませんが、今年度以降も優勝を狙っていくに当たっては私達はまだまだ発展途上のチームと言わざるをえません。



表彰式にて

今年度は前述の点を踏まえ、静的・動的の各審査にどのように挑むかを再度検討し直しております。その要となる2014年度車両の設計は、KZ-RR11で浮上した問題を洗い出し、今までのマシンとは一線を画す革新的なものとなっています。

これまでは重量増などのきらいもあり、ウイング等の本格的なエアロデバイスの導入は見送ってきましたが、今年度からは当初よりダウンフォースを活用することを念頭に設計を行っております。そのほか、コーナーを曲がる際のパワーロスを低減する新たな差動制限機構や、エンジンパワーの向上を図る過給機の搭載といった、チーム史上初となる取り組みが幾つもあります。

一方で、これまで培われてきたノウハウで実績のあるものは積極的に引き継がれ、磨きかけられています。軽量コンパクトな車両パッケージングはそのまま維持されるほか、KARTの伝統であるアルミフレームも、前後重量配分の見直しやバルクヘッド枚数の最適化などを経て、軽量でかつさらに高剛性なものとしています。今までの車両は、それはそれでひとつの解答として、今年度は伝統と新規性を融合させ、新たな解答となりうる車両を目指しました。

1月下旬時点で車両の設計はほぼ完了し、フレーム等の主要部品については製作が始まっています。順調に進めば、5月には新たな車両が産声を上げる予定です。昨年の優勝の後、京機会の皆様より大変多くのお祝いの言葉を頂戴いたしました。私たちの活動に日頃よりご理解とご協力を戴いておりますことに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。今年度は追われる立場となった私たちではございますが、KARTの実力が本物であることを証明できるよう、日々精進して参りますので、これからも温かなご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



2014年度車両「KZ-RR12」

京都大学  
フォーミュラプロジェクトKART  
2014年度プロジェクトリーダー 井澤 純一  
<http://www.formula-kart.org>



## 十字型人材育成に向けた学際教育 ～京都大学デザイン学大学院連携プログラム～

**機械系工学3専攻(機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻)では、2012年度の文科省の「博士課程教育リーディングプログラム」の採択を受け、博士前期・後期連携型5年コースのプログラムとして、2013年4月より「京都大学デザイン学大学院連携プログラム」を開始しています。** <http://www.design.kyoto-u.ac.jp/>

本プログラムでは、今日の社会が求める複合的問題の解決を目指して、工学研究科の各領域(機械工学・建築学)における高度な専門教育を行うとともに、問題発見・解決のためのデザイン方法論を修得し、経営学・心理学・芸術等を含む異なる領域の専門家と協働して、社会のシステムやアーキテクチャをデザインできる、突出した実践力(独創力+俯瞰力)を備えたデザイン型博士人材の育成を目指しています。こうした人材をジェネラリストを意味する「T字型人材」と対比させ専門領域を超えて協働できる突出した専門家という意味を込めて「十字型人材(+ shaped people)」と呼び、本プログラムにより養成すべき人材像としています。

こうした人材を育てるために、5つの専門領域(情報学、機械工学、建築学、経営学、心理学)の協力によってデザイン学の学位プログラムを構成しています。具体的には、各領域でデザインに関わる科目(デザイン学領域科目)を揃え、専門に根差した教育を行うと共に、領域横断的なデザイン理論とデザイン手法に関わる科目(デザイン学共通科目)によって、専門領域を超えた教育を行います。また、本プログラムの学生のみならず、社会人、理工学・人文社会科学系学生が参加する問題発見型学習(FBL: Field-Based Learning)や問題解決型学習(PBL: Problem-Based Learning)を実施しています。

人や社会をデザインの対象とするには、デザイン学を先導し構造物から(利用)環境のデザインへと進化を遂げた機械工学の蓄積によるところが極めて大きく、機械系工学においてデザイン学を開始した理由がここにあります。また人材育成の状況は近年大きく変貌しつつあり、グローバル競争に晒される中であって、企業内での人材育成がこれまでのように時間と手間をかけて進められなくなってきているという社会的背景もあります。

本プログラムでは、これまでの工学教育がめざしてきたところの、記述された問題に対して解決策を提案することを教えるだけでは不十分であり、問題を認識するところから、解決策を他者に説明し受け入れさせるところまでを教育していかねばならないと考えています。与えられた問題を特定分野の流儀で解決する方法を知るだけの教育

では不十分で、現実社会との相互作用を重視し、学際的にアプローチすることの意義を理解させねばなりません。上述のPBL/FBLの実習では、人々や社会の中の価値観や潜在的なニーズ欲求を調査し、そこから課題を発見し問題を定式化するステージから始めます。そこでは学生の主体的な参画とチームによるアクティブラーニングの実践が鍵になります。同時に、学生には自らの専門性と社会・ビジネスとの関係、さらには政策立案にも影響力を有する研究の意義について考える能力も必要です。

そのために本プログラムでは、産官学連携、国際連携、大学間連携による教育の推進を目的として、デザイン学のハブとなる800平米を擁するデザインイノベーション拠点(写真)を京都リサーチパークの中に設立し、リーディング大学院を可視化しています。大学の講義室とはまったく異なるスタジオのようなオープンスペースの中で、異分野からの学生同士がチームとして知識を共有し、アイデアを絞り出していきます。また今春からは、産・官から40社(組織)以上の参加を得てデザインイノベーションコンソーシアムを設立し、さらに吉田キャンパス内の旧機械工学の工場棟にデザインアプリケーション拠点も開設します。このように、リーディングプログラムを対外的にオープンにした活動を「京都大学デザインスクール」と通称し、社会と共に教育研究を行う姿勢を広く世界に伝えて参ります。京機会会員各位のご協力を切にお願い申し上げます。



デザインイノベーション拠点での  
国際産学連携イベント風景

工学研究科 融合工学コース

デザイン学分野 分野長 榎木 哲夫(S56)

## 京機会のITサービスの強化

### 行事受付システム

会員各位のご協力のもと、京機会行事の多彩化と、学年・研究室同窓会の活発化にも伴い、新たに受付システムを導入することとなりました。

既に平成26年度春季大会や支部総会に受付にて運用させていただいております。是非ご活用下さい。



新行事申込受付画面(イメージ)

### 住所等変更受付ページ

京機会ホームページよりデータ変更連絡が可能になりました。ご登録後、データは事務局にメール配信されるシステムです。サーバー上での管理ではありませんので、セキュリティー面では万全です。ご安心してお使いいただけます。



住所等変更受付ページ

左記ページ  
アクセス用  
QRコード



## 会費納入のお願い

### 平成26年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤としております。是非、会費納入にご協力下さい。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

**会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。**

### ●インターネットバンキングもご利用できます。

下記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします(海外送金は除く)。)

# 口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 〇九九店(099) 当座預金 0116821  
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630  
郵便振替口座 00990-8-116821

### ●クレジットカードによる会費納入も可能です。

京機会HPの「会費納入のお願い」のページから会費納入用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

### ●京機会費自動引落のお勧め

各位の振込みの手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。申請用紙は、毎年、京機会ニュース春号に同封しております。

また、京機会HPの「会費納入のお願い」のページからダウンロードできます。

振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。なお、ご利用時は下記注意事項をご確認下さい。

①申請依頼書は下記京機会事務局宛にご郵送下さい。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
C3棟 b4S13 京機会事務局

②平成25年度分の会費は平成26年6月に平成26年度分とまとめて引き落とされます。平成27年以降は6月にその年度の会費が引き落とされます。

**各種詳細は京機会HP (<http://www.keikikai.jp>) の「会費納入のお願い」のページをご覧ください。**

### ●永年会員登録のお勧め

1977年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)

### ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 平成25年度寄付者 (H25. 9. 17~H26. 1. 31)

岩崎 恵二 様(1952) 湖崎 一俊 様(1957)  
新川 良 様(1965) 益本 康男 様(1971)  
増井 新 様(1986)



## 会員のページ

### 昭和26年卒同窓会

日時：平成25年10月22日 参加者：5名  
場所：京大桂キャンパス訪問



### 昭和30年卒第12回目同期会

日時：平成25年10月30日(火)13:00~15:00  
場所：ホテルグランヴィア大阪 なにわ食彩「しずく」  
参加者：赤松、荒木、石田、撰、岡崎、鎌倉、品部、清水、田中、谷口、近山、安井の12名(44%)が参加しました。

年齢が80歳を超えて、皆どこか体調に違和感を持ちながら、和気あいあいの楽しい時間をすごしました。昨年より京都と大阪で年一回集まることにしているの、来年は京都です。(安井記)



### ミニ(・ミニ)ソウル会

2013年11月28日宮廷料理店「チファジャ」にてミニ(・ミニ)「ソウルの会」を開催しました。今後も機会があれば開催したいと思います。ソウルにお越しの際は、是非、ご一報下さい。(藤川記)



### 昭和42年卒H25年10月同期懇親会

平成25年10月9日にS42年卒の平尾隆氏が京機九日会で講演のため東京から来阪したのを受けて、関西の同期が集まり懇親会をホテルグランビア大阪19階アブで13名が集まり開催しました。珍しい人が多かったため「おまえは誰か」などいいながら、あっという間に2時間半が過ぎました。本会の定例会議は毎年6月の第一土曜日に開催することになっています。

次回は平成26年は6月7日(土) 17時から同場所で行います。関心ある方は幹事 川合まで。



### 近未来技術フィロソフィー研究会 ('66年卒中心の同窓会)報告

平成25年10月18日(金)、同窓会の先陣を切って桂キャンパス見学会を開催しました。JR桂川駅(京都駅より2駅西)に、東は千葉、西は広島より、22名の参集を得て、研究会会場『ホテル京都エミナース』のマイクロバスで桂キャンパスへ移動(約15分)し、蓮尾昌裕先生のご案内で約1時間、研究室・実験室などを見学させて戴きました。見学後は、再びホテルのバスで研究会会場まで移動し(約7分)、高橋知之君の講演「風車とそのコンポの話」に耳を傾け、近未来を語り合って旧交を温めました。

次回の研究会は平成27年10月に京都駅前で開催予定です。(中嶋記)



## 会員のページ

### 京岬会京岬会(昭和33年卒)総会

10月21日名古屋にて開催。今まで毎年、鎌倉・長野・伊勢・四国・日光など観光地を巡り総会を開催してきたが、今年から東海地区に限定した。卒業40名、生存者28名中6割を超える17名が出席して開催。各自の近況報告、歓談後は2次会、有志の囲碁等で楽しんだ。翌日は12名が参加して彦根ゴルフ倶楽部にて楽しんだ。(池村記)



### 昭和43年同窓会

1968年卒組は今年度の同窓会として10月16日から1泊で会津若松への旅を楽しみました。おりしも伊豆大島で多くの犠牲者を出した台風26号が本州を窺っており、昼ごろに至るまで東北新幹線が運転を見合わせていました。このため参加者全員が無事に集合場所である会津東山温泉の向瀧に集合できると心配しましたが、奇跡的にも16名の参加予定者全員が予定時刻までに旅館に到着し、夕食会では久しぶりの再会を喜び合い様々な話題で盛り上がりました。翌日はマイクロバスを借り切って、会津武家屋敷、飯盛山、戸の口堰洞穴、栄螺堂、旧滝沢本陣、鶴ヶ城、日新館といった史跡を見学しました。

(成瀬記)



### 京機23年会(昭和23年卒)同窓会

平成25年度の京機23年会は、例年通りホテルグランヴィア大阪の葵の間で実施。出席者は井宮、江本、尾谷、竹内、中塚、西岡、岐美の7名。

昭和63年に始まり本年まで平成11年を除き、毎年開催されてきた本会も今回で25回になるが出席者が年を追って次第に減少し、従来方式での京機23年会は今回で終わりとなりました。ただし本年以降も旧交を温める気楽な集いは継続の予定です。

我々のクラスは卒業後65年経ち、平成25年11月16日現在ではっきり分かっている所で44人が鬼籍に入られています。これら同窓の友のご冥福をお祈りし、京機23年会報告の最終回とさせていただきます。

最後に長らくお世話になった京機事務局に厚く御礼申し上げます。(西岡記)



### 海底会(昭和28年旧制卒)同窓会

海底会の会合は、辻正二兄の企画で平成25年10月25日、東京にて開催を予定していましたが、天候、発病等の理由から中止をやむなくなりました。

現在、国内在住は9名ですが、6名は体調不良で3名のみが外部活動できる状態です。従って、会としての活動は事実上終わったかと考えます。(乾記)

### <京機23年会の皆様、海底会の皆様>



長らくのご活動ありがとうございます。  
これからも皆様、ますますお元気で、今後とも京機活動へのご愛顧の程よろしく  
お願い申し上げます。

<京機事務局>

### 京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)で  
お願いします。紙面の都合により事務局にて文  
章を省略させていただく場合があります。

またお送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承下さい。

次号(2014秋号No.35)締切は7月末日です。

担当: 蓮尾昌裕、富田直秀、鈴木基史  
小森雅晴、段 智子